

新しいつながりの カタチ



令和4年度（予備費）独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
高齢者の生きがいつくりと相談援助におけるICT活用推進事業

インターネットを活用し生活をより一層豊かに スマートフォンやタブレット端末 を活用した新しいつながり

新型コロナウイルス感染症が拡大してからオンラインでのやり取り（インターネットを通じたやり取り）が一気に加速しました。

買い物や趣味講座、講演会や会議もオンラインで。という言葉をよく耳にします。

スマートフォンやタブレットは便利なものですが、使い方が分からずに困っている方も多いと思います。

また、家族や友人と会っておしゃべりして、触れ合っというようにこれまで大切にしてきた「つながり」が希薄になる・・・そんな心配もあるのではないのでしょうか。

栗山町老人クラブ連合会、北海道介護福祉学校と連携し、 いきいき交流プラザでタブレットを通じた体験講座や オンライン交流会を開催

令和4年度にタブレット端末を10台導入し、体験講座やオンラインでの交流会を通して、「新しいつながり」を体験してもらっています。

タブレット体験講座には北海道介護福祉学校の学生さんがサポート役として参加して下さり、介護学生の皆さんが定期的で開催している「学生カフェ」では、オンラインを通し新たな交流が生まれています。



タブレット体験講座



学生カフェでのオンライン交流会

なぜタブレット？



タブレットはスマートフォンより画面が大きく、見やすいという利点があります。お友達と一緒に楽しみ、一緒に学び、お互いに教え合える。

ご家族との連絡手段にも幅が広がります。動画通話も簡単にできるようになり、遠く離れた家族とのコミュニケーションも大変身。これからのデジタル社会に対する新しい繋がり方を体験し、生活をより一層豊かに！

がりを



いきいき交流プラザ
ケアラーズカフェ「サンタの笑顔」
場所：栗山町中央3丁目（役場前）
開館：9時00分～17時00分（日曜・祝日休）

地域を見守る拠点として孤立や孤独を防ぐ

栗山町社会福祉協議会ではケアラー支援に取り組んでいます。

地域の見守りサポーター（ケアラーサポーター）がケアラー世帯や一人暮らし高齢者世帯等へ定期的に訪問しています。



令和4年度よりタブレット端末を活用した遠隔相談援助を開始しました。

ケアラーサポーターが訪問時により詳しい説明等が必要な時は社協職員が遠隔で対応します。



私たちがお伺いします

デジタル社会をみんなで一緒に



老人クラブとして初の試み



栗山町老人クラブ連合会
丸山 紘司 会長

スマートフォンや
タブレットと聞くと
抵抗を感じる方も多いと思います。
ただ、実際に体験してみると、
いろんなことができますし、
とても便利なものだ
ということを実感でき、
益々興味が湧いてきます。



タブレットを通じた新しい世代間の交流

タブレット体験講座は計6回開催し、老人クラブへの加入有無に関わらず延べ54名の方が参加下さいました。

講座に参加された方からは「学生さんが優しく丁寧に教えてくれてとても分かりやすかった」「なんでも気軽に聞いて助かる」「とても便利なものであると実感した」などの声を頂いています。

つながり、をアップデート



参加する前は
どうなるだろうと
不安でしたが、
実際に参加してみると
タブレットを使い
一緒にゲームをしたりして
とても楽しかったです。

スマホ世代の
私たちができること。
地域の方と交流できて
楽しいですし、
私たちの学びにもなります。



須藤さん



依田さん

北海道介護福祉学校

介護学生による学生カフェでオンライン交流

いきいき交流プラザで介護学生さんによる学生カフェを開催し、レクリエーションを行ったほか、タブレットを使い介護福祉学校とオンラインで繋ぎ、遠隔での交流会を実施しました。参加された方からは「これ今の映像?」「これなら遠くにいる人ともおしゃべりできる」と学生さんとの交流を通して楽しい時間を過ごして頂きました。

(計4回開催、延べ33名参加)



覚えるよりもまずは楽しんで！



角田農村環境改善センター 「まちなかカフェかくた タブレット体験」

意外に楽しい
子供や孫が夢中になることがわかった



かくたカフェでは定期的にタブレットで“脳トレ”に挑戦しています。
LINEアプリを使い新しく誕生した栗山町駅南交流拠点施設“くりふと”のオンラインLIVEツアーを体験！タブレットのいろんな使い方を体験しています。

遊歩道の駅つぎたて 「まちなかカフェつぎたて スマホ教室」

初めてのスマホを基礎から学ぶ



つぎたてカフェではスマホ講座を開催。スマートフォンやタブレットの基本的な仕組みやメッセージアプリ「LINE」のやり方などを学びました。
参加者同士でも教え合ったり、体験したり。みんなで楽しんでいます。

傾聴ボランティア団体の皆さんもタブレットの使い方を学ぶ



脳トレやいろんな使い方を1人1台ではなく、一緒に楽しむことができます。

スマートフォンやタブレットを使い、日常生活に彩りを加えませんか

栗山町社会福祉協議会では、今後もスマートフォンやタブレットを活用した取組みを続け、新しい楽しみ方やつながり方を提供していきます。

- タブレットで脳トレに挑戦！
- メッセージアプリを使い、家族や友人との交流をもっと身近に！
- 相談支援や見守り活動にも活用していきます

スマートフォンやタブレットのいろんな使い方を体験してみませんか？
団体やサークル、地域の集まりなど、少人数でもニーズに合わせた講座等の開催を出張して行いますので、お気軽にご連絡ください。

“同じことを何回聞いても良いんです、

いきいき交流プラザでは毎月第2木曜日に社会福祉協議会の職員によるスマートフォンやタブレットの使い方などに対する個別相談会を開催しています。



問い合わせ先 栗山町社会福祉協議会 ☎0123-72-1322



発行／令和5年3月
発行者／社会福祉法人 栗山町社会福祉協議会
〒069-1513 北海道夕張郡栗山町朝日4丁目9番地36
TEL (0123) 72-1322
FAX (0123) 72-5121